



TITLE:

4外国人研究員・研修員(Ⅲ.研究活動)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

4外国人研究員・研修員(Ⅲ.研究活動). 霊長類研究所年報 2014, 44: 69-70

ISSUE DATE:

2014-12-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/214248>

RIGHT:

日本	西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」		2012.6.16	—
日本	日本モンキーセンター		2012.10.15	—
日本	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所		2014.1.22	5 年間

### 3. 学位取得者と論文題目

#### 京都大学博士(理学)

John Sha Chih Mun (論文) : Ecology of Long-Tailed Macaques (*Macaca fascicularis*) and its Implications for the Management of Human-Macaque Interface in Singapore  
(シンガポールのカニクイザルの生態とヒト・サル関係の管理についての研究)

#### 京都大学修士(理学)

金 侑璃 : 断眠による感情への影響ーポジティブな気分ー

栗原洋介 : 屋久島海岸域に生息するニホンザルにおける採食行動の群間比較

酒多穂波 : 随意運動の意図の知覚と運動準備電位

寺田祥子 : テナガザル科 4 属にもセントロメア反復配列高次構造は存在する

若森 参 : マカク属の尾椎形態比較

江島 俊 : 鞭虫類(*Trichuris* sp.)の遺伝的分化から見た霊長類の地域分化および種間相互作用

山田智子 : 漢字とひらがなによるストループ干渉～発達による変化～

### 4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

H Bouchet (フランス共和国、セント・アンドルーズ大学・博士研究員)  
(2012.8.20～2015.11.19)

受入教員 : 正高信男

研究題目 : 野生ニホンザルの同種内ー異種間コミュニケーションの様相に関する比較認知科学的研究

CFE Watson (京都大学霊長類研究所・研究員 (特別教育研究))  
(2012.11.30～2014.11.29)

受入教員 : 松沢哲郎

研究題目 : 霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達

SJ Hyniewska (京都大学霊長類研究所・研究員 (最先端・次世代研究))  
(2013.9.1～2014.8.31)

受入教員 : 松沢哲郎

研究題目 : 日本人における表情の符号化と解読の検討

H Bernard (マレーシアサバ大学・准教授)  
(2013.9.2～2013.11.30)

受入教員 : 半谷吾郎

研究題目 : 葉食性霊長類の生息数の決定要因

L Morino (ラトガース大学・講師)  
(2013.9.20～2014.9.19)

受入教員 : 松沢哲郎

研究題目 : 類人猿テナガザルの利き手と高次コミュニケーションに関する観察研究

P Sujiwattanasarat (カセサート大学・研究員)  
(2013.12.18～2014.11.30)

受入教員：古賀章彦

研究題目：霊長類での反復配列の分子進化

CM Gonseth (ピエール・メンデス・フランス大学 (グルノーブル大学)・研究補助員)  
(2014.3.2～2015.3.1)

受入教員：友永雅己

研究題目：ヒト以外の霊長類のコミュニケーションにおけるマルチモーダル性についての比較研究

## 5. 日本人研究員・研修員

### 日本学術振興会特別研究員(PD)

柴崎全弘 (2011.4.1～2014.3.31) 受入教員：正高信男

研究題目：ヒトの不安障害のメカニズム解明に向けた動物モデルの構築

川上文人 (2013.4.1～2016.3.31) 受入教員：友永雅己

研究題目：笑顔の起源：ヒト科を対象とした比較認知発達科学

## 6. 研究集会

### 所内談話会

第1回：2013年6月4日(火)

Fumito Kawakami (京都大学霊長類研究所・思考言語分野)

「The phylogeny and ontogeny of smiles」

第2回：2013年6月11日(火)

Younga Lee (京都大学霊長類研究所・認知学習分野)

「The Habenula in ADHD Pathology: A Novel Animal Model Approach」

第3回：2013年6月20日(木)

William Irvin Sellers (Faculty of Life Sciences, University of Manchester)

「Fossils, physics and fast computers: unlocking a virtual past.」

第4回：2013年7月9日(火)

Atsushi Kikumoto (Department of psychology, University of Oregon)

「The Nature of Task-set Carryover During Task Switching」

第5回：2013年7月29日(月)

John Sha Chih Mun (Singapore Zoo)

「Ecology of Long-Tailed Macaques (*Macaca fascicularis*) and Implications for the Management of Human-Macaque Interface in Singapore」

第6回：2013年8月19日(月)

Masanori Imamura (慶應義塾大学医学部)

「哺乳動物の生殖細胞を理解し、培養し、作り出す」

第7回：2013年9月10日(火)

John Vanden Elzen (VP Marketing & Sales, Lotek Wireless 社)

第8回：2014年1月7日(火)

Shinji Fukuda (慶應義塾大学)

「食習慣に依存する腸内細菌叢の変化とそれらがもたらす生体恒常性維持機構の理解」

第9回：2014年1月31日(金)

Stacy Rosenbaum (UCLA Department of Anthropology)

「The ontogeny of male social partner preferences in maturing mountain gorillas (*Gorilla beringei beringei*)」

第10回：2014年2月13日(木)

Roscoe Stanyon (Anthropology Laboratory, Department of Biology, University of Florence)

「Evolution of mammalian chromosomes: hypotheses from syntenic associations」